

土砂災害に強いまちづくり 進めよう！六甲山系グリーンベルト整備事業 ～六甲山フォーラム開催～

～近畿地方整備局 六甲砂防事務所～

近年、「これまで経験したことのない大雨」によって大規模な土砂災害が全国各地で発生し、六甲山においても、いつ大きな土砂災害が起きても不思議ではない環境にあります。土砂災害の被害を抑えるための工事や市民の皆さんとの協働による「森づくり活動」が進められている中で、土砂災害被災地域の教訓について学び、いかに六甲山麓地域における土砂災害への警戒意識を育み、今後の「森づくり活動」をさらに継続・発展させていくかについて市民の皆さんと意見交換を行い、地域防災力の向上をはかることを目的として開催いたしました。

概要

日時：平成28年9月17日（土）13:00～16:30 場所：甲南女子大学 芦原講堂
主催：六甲砂防事務所、兵庫県
参加者：中瀬 勲（兵庫県立 人と自然の博物館館長） 救 百合子（広島市安佐南区八木地区在住）
黒田 慶子（神戸大学大学院 教授） 松村 俊和（甲南女子大学 准教授）
檀之上 正一（本山第一小学校区 防災福祉コミュニティ会長）
高田 誠一郎（ほくら～ととや森の世話人倶楽部 事務局長）
前田 勝典（ほくら～ととや森の世話人倶楽部 代表世話人）
堀田 佳那（神戸大学大学院） 荒金 日向子（甲南女子大学） 菊地 未紗（甲南女子大学）
朝倉 禎尊（住吉中学校 教諭）、住吉中学校生徒会（4名） 石塚 忠範（六甲砂防事務所長）
参加人数：約400名

○話題提供

「土砂災害の減災、森づくり活動の現況等について」

話題提供では、平成26年8月の広島土砂災害で被災された方の体験談や、住吉中学校生徒会から熊本地震、東日本大震災で被災した方々との交流、阪神・淡路大震災での土砂災害について学んだことを受け、命の大切さや自分達の役割などについて発表していただきました。

また、現在、六甲山地で森づくり活動に参加している方々に、森づくり団体の活動の現状や森づくりを行う中でのお楽しみと大変さをお話していただき、森づくり活動への幅広い層の参加の必要性について発表していただきました。

話題提供



H26広島土砂災害体験談(救氏)



私たちが学んだこと（住吉中学校）



森づくり団体、学生による話題提供

○座談会

「土砂災害に強い六甲山麓づくりをテーマに意見交換」

座談会では、まず最初に「どうやって“土砂災害に強いまち”になる？」という論点で意見交換を行い、“土砂災害に強いまち”にするには、市民の防災意識向上が必要で、高齢化が進む中、やはり防災学習・教育を受けた若い世代が積極的に地域に発信するなどし、災害に対する意識を高めていくことが大切ではないかという意見がありました。

二つ目に「市民参加の『森づくり』にどうやって新しい担い手を迎えるのか？」という論点での意見交換では、森づくり団体の相互連携と発信力を強化し、森づくり活動の認知度を上げ、イベントなどに参加してもらい、それを継続・発展させていくよう工夫することが必要ではないかという意見がありました。

座談会



パネル展示



【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

